

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	下水道課	主管課長名	坪井 昭
5-5	施策名	下水道の整備	関係課	生活環境課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	市民	①桜川市人口	見込値	人		37,653	37,269	36,885	36,500	35,897
実績値						37,653				
②桜川市世帯数			見込値	世帯		13,572	13,547	13,522	13,497	13,497
						実績値	13,572			
		見込値								
						実績値				
的		施策の意図	成果指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		快適で衛生的な生活環境で暮らしている。	①生活排水処理普及率		%	目標値	69.85	70.90	71.4	71.9
実績値							70.80			
②公共下水道普及率				%	目標値	16.06	16.3	16.5	16.8	17.0
	実績値					16.95				
③公共下水道接続率 農業集落排水接続率			%	目標値	61.08	63.30	65.55	67.80	70	
					実績値	83.90 63.96 79.61	85.10	86.30	87.50	89
④公共下水道使用料収納率 農業集落排水使用料収納率			%	目標値	99.47	99.48	99.49	99.49	99.5	
					実績値	99.02 99.43 99.01	99.03	99.04	99.04	99.05
	目標値									
						実績値				
成果指標設定の考え方	○「快適で衛生的な生活環境で暮らしている」の指標については①生活排水処理普及率の指標が上がれば成果が上がると考えられる。									
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口、世帯は、毎年10月1日の常住人口。 ○①生活排水処理普及率、②公共下水道普及率、③公共下水道接続率・農業集落排水接続率は、生活排水ベストプランより求める。④公共下水道使用料収納率・農業集落排水使用料収納率は、過去の実績より求める。									

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<p>生活排水処理普及率は、令和3年度67.4%、令和4年度70.80%と3.4ポイント増加した。 公共下水道を対象とする下水道普及率は、令和3年度16.5%、令和4年度16.95%と0.45ポイント増加した。</p> <p>公共下水道接続率は、令和3年度63.73%、令和4年度63.96%と0.23ポイント増加した。農業集落排水接続率は、令和3年度85.25%、令和4年度79.61%と5.64ポイント減少した。これらの要因として、公共下水道・農業集落排水ともに令和3年度の接続工事費補助金の駆け込み需要の影響によるものと思われる。 公共下水道使用料収納率は、令和3年度99.15%、令和4年度99.43%と0.28ポイント増加した。農業集落排水使用料収納率は、令和3年度98.90%、令和4年度99.01%と0.11ポイント増加した。 昨年度と比較して各指標の数値は、やや向上しているものの、接続率は上記理由により落ち込んでいる。</p>		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	<p>生活排水処理普及率は、令和4年度目標値が69.85%に対し、70.80%と0.95ポイント上回った。 公共下水道普及率は、令和4年度目標値が16.06%に対し、16.95%と0.89ポイント上回った。 公共下水道接続率は、令和4年度目標値が61.08%に対し、63.96%と2.88ポイント上回った。 農業集落排水接続率は、令和4年度目標値が83.90%に対し、79.61%と4.29ポイント下回った。 公共下水道使用料収納率は、令和4年度目標値が99.47%に対し、99.43%と0.04ポイント下回った。 農業集落排水使用料収納率は、令和4年度目標値が99.02%に対し99.01%と0.01ポイント下回った。 普及率と公共下水道接続率は目標値を達成した。農業集落排水接続率と収納率が下回ったものの、ほぼ目標値どおりの成果であったと考えられる。</p>		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で以下の事業が大きく貢献したと考える。 公共下水道接続推進事業は、県と共同で戸別訪問を行うなどし、接続率向上につながった。 公共下水道整備事業は、富士見台地区0.6haの整備を行い、下水道普及率が向上した。 下水道受益者負担金・使用料徴収事業について、受益者負担金の不納欠損を行い過年の未収金が減少したこと、使用料の滞り整理も着実な実施により収納率の向上につながった。</p>	<p>下水道事業の効率的で健全な事業運営に努め、以下の取り組みを重点的に行う。 公共下水道事業・農業集落排水事業とも接続工事補助金の周知、推進活動を行い接続率の向上を図る。 汚水処理施設整備計画見直し事業の中で、今年度は認可区域変更があるため最適な排水計画等検討していく。 大和駅北地区農業集落排水整備事業については、宅地開発に密接な事業のため年度内完成を目指して実施していく。</p>